



家畜保健衛生所だより

R7.1.27

群馬県前橋市で豚熱（CSF）が発生 （国内 95 例目、群馬県 10 例目）

1月23日、群馬県前橋市の養豚農場においてCSFの患畜が確認されました。群馬県の養豚場では10例目の発生となります。

【発生農場の概要】

- ・ 農場所在地 群馬県前橋市
- ・ 飼養頭数 約4,800頭
- ・ 経緯 1月22日:農場から子豚で異状(消瘦)がみられる旨の通報があり検査を実施。
国による精密検査の結果、1月23日、CSFの患畜決定

愛媛県では、昨年7月に初めて野生イノシシにおけるCSF感染が確認されて以降、現在までに6例発生し、また、飼養豚でも同年11月に四国で初めてCSFが発生しました。県内でも農場内へのCSFの侵入リスクは極めて高い状況にあります。周辺地域にはウイルスが存在する可能性があることから、野生動物の侵入防止対策や出入りの際の消毒等の飼養衛生管理及び早期発見・早期通報の徹底をお願いします！

◎農場内・豚舎内へのウイルス侵入防止対策について再点検を！

不十分な場合には、対策強化・徹底をお願いします。

◎適時・適切なワクチン接種が重要です。

飼養衛生管理を徹底の上で、適切なワクチン接種を行ってください。

◎飼養豚に異状がないか、日々の健康観察をお願いします。

CSFは、特徴的な症状がなく、気がつきにくい疾病です。

発熱、食欲不振、元気消失、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等の異状がないか、毎日確認し、異状がみられた場合には、すぐに下記までご連絡ください。

中予家畜保健衛生所

電話 089-990-1333

携帯 090-6282-6129 (夜間・休日)